

## ■事業者コンサルティング原稿（アメブロ）

### 「NPO 設立の方法」

NPO を設立し、起業したい方へ捧げます

実は設立することはとても楽です

重要なのは、設立し運営・継続することが数倍大変です

その覚悟がある方だけお読みください

#### <設立する方法>

1 設立する決断をします

2 所轄の担当（県庁〇〇課）へ出向きます

3 そこで設立の手引を購入します（2000 円ほど）

※ 各地域により、申請書類の様式が違います

4 同じ志の方を集めます（誘います）

5 設立総会（設立のための話し合い）をします

6 もらってきた様式に沿って、書類を書き込みます

※めんどくさい方は行政書士に依頼します

（相場 5 万円～10 万円）

7 所轄の担当部署に書類を提出します

（一般の閲覧 6 ヶ月があるので、半年待ちます）

8 担当先から修正・訂正箇所の支持があります

（変更した物を再提出します）

9 設立の認証決定の通知が届きます

10 出かけて、認定をしてもらいます

11 法務局に登記します

12 税務署に法人届出書を提出します

以上です

・ ・ 書籍で勉強するよりは行政書士に依頼しましょう ・ ・

## 「助成申請の方法」

NPO で助成申請する方法を紹介します

詳しくは世界自然ガイドに PDF で記載しています

<http://www.shizenguide.com/>

<方法>

・ ・ まずは NPO を設立してある事が前提 ・ ・

### I 支援（助成先）の情報を集める

助成金情報のポータルサイトを利用する

NPO に関する助成金情報

<http://www3.ocn.ne.jp/~npo-kama/joseikin/index.htm>

NPO 助成金情報 ドットコム

<http://www.npo-joseikin.com/>

行政機関のサイトをチェックする

「〇〇県のホームページ」

キーワード検索する

「〇〇助成 募集 」 クリック

### II 助成申請を選択する

<申請を選択するためのチェックリスト>

- 助成者と申請組織の目的が一致しているか？
- 助成先は誰れなのか？
- 誰が審査するのか？
- どの位の金額を狙うのか？
- 採択するにあたっての助成者のメリットは何か？
- 申請者は助成者に何を提供できるのか？
- 難易度を数値化する

### Ⅲ申請書類を作成する

まずは

「最初に自力申請 OR 代理人依頼か決める」

#### <自力申請の手順>

- 1 条件が満たされている団体か確認する  
(組織体・活動拠点・法人格など)
- 2 提出書類が揃えられるか確認する  
(直近の収支決算書・事業計画書)
- 3 趣旨・目的を把握する  
(審査員は誰なのか確認し、内容を適合させる)
- 4 裏の目的(欲求)を推測する  
(その組織の役目や目的を理解し適合させる)
- 5 欲求に合わせたテーマを決める
- 6 企画を構成する
- 7 最後の方から書き込む
- 8 事業名を決める
- 9 精査する
- 10 プリントアウトする

・ ・ 「センスと経験が必要である」 ・ ・

#### ☆申請書作成の留意点

- とにかく分かりやすい表現を用いる  
(小学生でも理解出来る内容)
- 家族に読ませ伝わるか確認する  
(言い回しを変える)
- 視点を明確にする

#### ☆困ったときの対処法

- 迷わず申請者(事務局)に問い合わせる
  - 迷わず行政書士に聞いてみる(予算等)
  - とりあえず商工会に行く  
(中小企業診断士に相談する)
  - 無料の経営コンサルティングを利用する
  - 仲間や先輩に相談する
- ・ ・ 「本気な人は私のセミナー参加」がオススメ ・ ・

#### IV 添付資料を作成する

提出添付書類のリストを作成する  
それに従い用意する

#### V 応募する

メール便で郵送する  
もしくはデータをメールする

#### VI 結果通知を待つ

一ヶ月以上待たされる

・ ・ 数と慣れが重要 ・ ・

#### 「助成受託の確率を劇的に向上させる方法」

受託必勝法です。

(本心では紹介したくありませんが地球と子供の未来のためです)

☆ズバリ「自分がやりたいことではなく、助成先が得する事」  
を企画する。

テク 1 とにかくイメージが伝わりやすい事をやる  
(ほとんどの助成担当者はイメージが持てない)

テク 2 小学生がわかる内容の表現で記入する  
(ほとんどの選定者には言語で伝わりにくい)

テク 3 よい写真が取れそうな企画にする  
(ほとんどが報告書を提出し、それが助成先の結果である)

これが必勝法であり後は「運」です

## <チェックポイント>

劇的に受託率を向上させるためのチェック

### 1 発展性

- 成長産業である（環境・医療健康・ロボット・エネルギー）
- ×成長産業ではない（製造・機会・箱物・など）

### 2 事業性

- NPOの会員数が多い（事業費が多い）
- ×会員が少ない（事業費が少ない）

### 3 公益性

- 公益的に利益がある
- ×会や自分だけが得する

### 4 社会性

- 社会に必要性がある（課題がある）
- ×必要性の優先が低い

### 5 経済性について

- 収支が明確に書かれている
- ×予算に必要なないものが記載されている

### 6 新規性

- 新たな取組である（ライバルがない）
- ×誰でもどこでも出来る事業である

### 7 波及性

- 全世界に波及する可能性がある
- ×そのエリアだけに通用する事業である

※他にもたくさんあるので後は省略します

・ ・ 詳しくはセミナーで ・ ・